

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	ふるさと納税市内特産品等贈呈事業			会計	款	項目	大	小
				01	07	01	02	02
06								
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	商工振興課			
施策	5-1	商業の拠点づくりと地域密着型サービスの強化		主管課長	金子 孝行			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内・市外を限定しない個人	意図	寄附金に対する謝礼として、本市のPR及び市内産業の振興を図るため市内特産品を贈呈する。
事業内容	「流山市を応援したい」という流山市に対する寄付者の想いを募り、その想いを実現させるため、寄附金に対する謝礼として、本市のPR及び市内産業の振興を図るため市内特産品等を贈呈する。6基金において寄附金を受け入れ、受け入れた寄附金（ふるさと納税）については、各基金で積立て、基金の目的に従い役立てる。			
事業開始から現在までの状況変化	平成26年、流山市を代表する特産物である「白味淋」が誕生200周年を迎えたことに際して、寄附金に対する謝礼として、本市のPR及び市内産業の振興を図るため市内特産品として贈呈することとした。平成27年7月31日までの寄附金（ふるさと納税）に対し「白味淋」、同年8月から流山市を舞台としたアニメキャラクターの絵皿+ソースのセット、同年10月より流山産コシヒカリを贈呈品に加え、寄附者の贈呈品の選択とした。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	贈呈件数			1,279	件
②	ふるさと納税実績額			16,205,016	円	↑↑↑	実績
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度	ふるさと納税は地方間格差や過疎化などによる税収に悩む自治体に対しての格差是正を図るために平成20年に創設された制度で、近年、多様な目的に多くの自治体が行っており、多種多様な贈呈品が増えたことや税制改正により確定申告が不要になったことなどから、過熱気味となっている。贈呈品に対する魅力や付加価値が求められる現状下にあつては、新たな贈呈品の発掘や、開発が求められる。		
事務事業の総計(a=b+c)				5,149,546			
事業費(b)(円)				3,643,546			
うち一般財源				3,643,546			
職員給与費(c)(円)				1,506,000			
人役・職員(人)				0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	新たな贈呈品を加え、寄付者の想いに応える。	③取組の課題	市内経済の活性化を図るため、魅力ある贈呈品の発掘と開発に取り組む必要がある。
②今年度(H27)に実施した取組	適宜、贈呈品を加えた。	④今後の改善計画	本市のPR及び市内産業の振興を目的とした商品の発掘や開発のため、商工会議所との連携を図る。